

時間展プロジェクト:

「時間」を軸にしたインタラクションデザインの実践と展示

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科

CB分野 修士課程1年

松村飛志

yuiseki@sfc.keio.ac.jp

1. はじめに

本報告書では、2008年9月11日～2008年9月13日に開催された時間展の活動報告と研究成果の報告を行う。

2. 目的

本展示会の目的は、コンピュータの時間的側面に着目してインタラクションデザインの研究を行い、その成果物等を展示して同研究分野における時間研究の重要性を提案することである。

3. 展示会の開催報告

3. 1. 開催概要

時間展は9月11日～9月13日の三日間東京・自由が丘にて開催された。展示期間中は時間をテーマに研究・開発したさまざまな作品を展示し、各開催日に講演者を招いてトークセッションを行った。

3. 2. 趣旨

本展示会の趣旨は、従来ユビキタスや HCI 研究において重視されてきた空間のデザインよりさらに先を目指すものとして、ユーザーの使用時間や生活時間などを重視した時間のデザインを実践することである。

そのために、プロジェクトメンバーによってさ

まざまな時間のあり方をメインテーマとした研究開発をすると同時に、従来より「時間」をテーマに活動してきた識者等とのトークセッションなどが企画された。以下で説明していく。



図1. 展示会 会場内部のようす

3. 3. 出展作品

最終的に、全部で 17 作品が展示された。これらすべてを詳しく報告するには紙面が足りないため、人気の高かったものをいくつか取り上げる。なお、展示された作品の情報は公式 Web サイト(<http://jikan-ten.jp/projects/>) にも掲載されている。

・CastOven

電子レンジの温め時間に合わせて、YouTube から時間ピッタリの動画を探し出し、レンジ全面のモニターで流してくれるもの。待ち時間の退屈解消などを狙ったもの。

・Dancingo

交差点にある歩行者用信号機のランプに描かれたヒトの形が、ダンスを踊ることによって信号待ちを楽しく過ごせるというもの。画像認識によって信号待ちしているヒトの踊る姿が信号機に表示される。

・suGATALOG

毎日出かけるときにどんな服を着て行こうかという悩みを支援するカタログ。クローゼット等にカメラをつけ、毎日の服装を記録していく。この記録を元にコーディネートを考える。こうした洋服のライフログを作ることによって、毎日同じような格好になってしまうことを防げるなどのメリットがある。



図2. suGATALOG

3. 4. トークセッションの開催

三日間の開催期間で、一日ごとに識者を招き、時間をテーマに話していただいた。三日とも、慶應義塾大学 SFC インタラクシオンデザインラボの安村通晃教授とゲストに対談していただいた。

一日目:9月11日「都会時間と田舎時間、OLから見たリッチな時間の過ごし方」

ゲスト: 貴山敬(NPO 田舎時間代表)、山本貴代(博報堂生活総合研究所)

二日目:9月12日「いつからせつかちになったのか。日本人の時間」

ゲスト: 織田一郎(時の研究家)

三日目:9月13日「アニメーションと時間」

ゲスト: 佐藤雅彦(東京芸大教授 & 慶應大客員教授)

(以上、敬称略)

三日間通して多くの聴講者の方にお越しいただき、盛況であった。参加した幅広い方々に、普段は意識しにくい時間という概念について深く考えるきっかけを提供する、有意義なトークセッションになったと言えるだろう。

4. 今後の展望

本プロジェクトはこれまでになかった時間をテーマとしたインタラクシオンデザイン実践の最初の一歩であったが、結果として多くの方に見ていただき非常に好評であった。

今後も引き続きこうした研究を行い、ORF や学会発表等で積極的にアウトプットを行い、インタラクシオンデザイン研究分野における時間の重要性を提唱していく。

5. 謝辞

時間展開催にあたってお世話になった関係者の皆様に感謝したい。また、本プロジェクトは08年度湘南藤沢学会「シンポジウム・ネットワーク基金」および08年度学術交流支援資金の支援の基に行われた。

6. 関連記事等

・時間展公式サイト <http://jikan-ten.jp/>

・自由が丘経済新聞

<http://jiyugaoka.keizai.biz/headline/280/>

・RobotWatch

<http://robot.watch.impress.co.jp/cda/news/2008/09/12/1300.html>

・マイコミジャーナル

<http://journal.mycom.co.jp/articles/2008/10/06/sfcyasumura/index.html>